

平成 27 年度 事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から

平成 28 年 3 月 31 日まで

学校法人クラレット学院
幼保連携型 認定こども園
うみのほし幼稚園

1. 法人の概要

名称 学校法人クラレット学院（昭和 60 年 2 月 1 日法人設立）

代表者 理事長 フェリックス・マルティネス

住所 大阪市旭区太子橋 1 丁目 1 番 27 号

電話 06-6951-2633

F A X 06-6955-6988

設置する学校

住所 大阪市旭区太子橋 1 丁目 1 番 27 号

名称 あけのほし幼稚園

住所 大阪府枚方市岡南町 3 番 46 号

名称 幼保連携型 認定こども園 うみのほし幼稚園

役員 理事 6 名

監事 2 名

評議員 13 名

理事会 3 回開催

評議員会 2 回開催

教職員 49 名

	園長	教員	教員 パート	職員	職員 パート	教員 派遣	職員 派遣	合計	
26 年度	1	16	12	3	2	2	2	38	
27 年度	1	20	17	3	2	1	2	46	年度初め
	1	20	21*	3	2	1	2	50	年度末

*21 人の内、4 人が常勤(1 日 8 時間勤務)

2. 事業計画

＜＜教育方針＞＞

一人一人が神様から愛されていることに気づき、人とのかかわりを大切にし、その子らしさを輝かせて生きる。

＜＜教育内容＞＞

いろいろな体験の場を設け、素材を準備して、子どもたちの意欲を自主的に引き出せる環境を整えています。朝の自由活動は、自分で活動を決め、片付けまで行っています。

年度末現在

	2 歳児		3 歳児		4 歳児		5 歳児		クラス 数計	園児 数計
	クラス 数	園児 数	クラス 数	園児 数	クラス 数	園児 数	クラス 数	園児 数		
定員			5	125	4	140	5	160	14	425
25 年度			5	125	4	118	4	113	13	356
26 年度			5	107	4	129	4	114	13	350
定員	2	20	4	100	3	105	4	140	13	365
27 年度	2	20	4	100	3	105	4	128	13	353
28 年度	2	20	4	99 (2号 20)	4	102 (2号 19)	3	103 (2号 13)	13	324

《保育時間》

1号認定 月～金曜日 午前 10 時～午後 2 時

2号・3号認定 月～金曜日 午前7時～午後7時(保育短時間 9:00～17:00)

《納付金》

1号・2号・3号共通

(1) 保育料.....園児が居住する市町村が定める額

(2) 日本スポーツ振興センター(ケガ等の保険) 200 円

(3) 父母の会費.....600 円(在園弟妹 400 円)

1号認定

(1) 環境充実費(上乗せ徴収) .. 2,250 円(年額 27,000 円)

(2) 園費(実費徴収) 4,250 円(年額 51,000 円)

(年長のみ 4,750 円、年額 57,000 円)

内訳: 教材・行事 1,000 円(年長 1,500 円)

給食 3,250 円(自園給食週 5 回)

(3) バス送迎費..... 2,240 円(税別・利用者のみ、年額 26,880 円)

(4) 入園時

入園検定料 5,000 円

入園予約金.....30,000 円

施設協力費(上乗せ徴収) ..30,000 円

バス協力費.....13,000 円(税込、利用者のみ)

2号認定

(1) 給食費(実費徴収)2,000 円(年額 24,000 円)

(2) バス送迎費.....3,000 円(年額 36,000 円・税別・利用者のみ)

※3号認定利用できません

※長期休園等運行なし

※入園時 バス協力費 13,000 円(税込、利用者のみ)

《預かり保育の時間及び費用》

通常保育日 月～金曜日

早朝 午前 7:00 から 1回 100 円

降園時間～午後 7:00 1時間 200 円 レギュラー券 35%割引

長期休業日 月～金曜日 午前 7:00 分～午後 7:00

一日 1,700 円(給食含) 午前 500 円 レギュラー券 35%割引

当日券1,300円

《未就園児 ーてんし組ー の時間及び費用》

子育て支援プログラム。2 歳児の親子教室。18 組まで。

3 クラス。 月・火・金曜日 午前 9:30～11:30。

1 学期 8 回 7,200 円

2 学期 8 回 7,200 円

3 学期 5 回 4,500 円

《行事実施状況》

4 月 始園式、入園式、クラス懇談会、子どもの日祝福式、親子遠足(中・長)

5 月 親子遠足(少)、避難訓練(防震)、イチゴ狩り(中)、マリア様の日、グループ参観

6 月 内科検診、歯科検診、プール開き、避難訓練(防火)、体育指導参観(長・中)、個人懇談

7 月 七夕、お泊り保育(長)、個人懇談、終園式、ほしのこ祭り

10 月 運動会、芋掘り(長)、遠足(中・少)、人形劇鑑賞、避難訓練(防震)

11 月 父親参観、七五三祝福式、避難訓練(防火)

12 月 イエス様のお誕生日会、サンタの日、キャンドルサービス(長)、卒園生の集い

2 月 生活発表会、小学校訪問(長)、お別れ遠足(長)、個人懇談

3 月 保育参観日、卒園感謝の祈り(長)、お別れ会、卒園式、終園式

《施設関係》

園地面積 2,516 m² 運動場面積 1,595 m²

2歳児クラスを2つ新しく作りました。予定通り4月7日に工事が終了し、8日枚方市役所の監査があり、9日(木)より園児が入って保育室として使われるようになりました。床のコッティングは17日～18日に行われました。しかし、その後実際に使ってみて、いくつかの改善をしなければなりませんでした。南側のテラス、マジックボード、ロールカーテン等。

砂場日よけシートや、ステージ幕を新しいものに取替え。

保護者の送り迎えが長い時間に渡って増えることが予想されますので、事務所の負担減とセキュリティの確保を考え、カメラ付きの安心パスシステムの設置を5月に行いました。

事務の仕事(保育料、名簿作り等)が複雑になったため、間違いなくしやすいように特別ソフト・プログラムの導入になりました。また、今のカラーコピー機を新しい機械にしました。

《保育内容》

27 年度の教育目標

「祈るこころを育てる」 子どもたちにできるだけ分かりやすくするため「ハッピーちゃん」というものに置き換えたり、日々の生活の中での出来事や他人との関わりの中で具体的な例を取り上げたり、落ちついた時間をつくったり自分自身と友だちの良いところを意識し、感謝したりして、日常生活から出てくる様々な思いを祈りを通して神様に捧げることに指導を行ってきました。

「運動」 楽しみながら挑戦できるように工夫し取り組んできました。運動の時間を増やす週に 2 日運動の日を設けたり、身体カードを作成したりしました。力の差があっても、比べるのではなく、子ども一人ひとりのやる気大切にしてきました。

「保育・教育にメリハリをつける」 年少は一年間で話を聞く姿勢を主に指導してきて、少しずつ身についてきたと思われまます。年中では、活動時間、遊ぶ時間と気持ちの切り替えができるよう一年間を通して徹底してきました。年長では、自分で考え、何が正しいやり方なのか、何をすべきかを確認しながら過ごすよう、指導に力を入れました。

《経営状況》

26 年度は準備の一年でしたが、27 年 4 月からは幼保連携型認定こども園のスタートを切ることができました。子育て支援新制度に移行すると同時に何もかも変わるという思いですべての教職員が一生懸命でしたが、教員の配置や役割分担等、すぐにうまくいかないことが目立ち、混乱と戸惑いの一学期でした。しかし、皆で意見を出し合いながら、体制を変えたり、先生を増やしたりして 2 学期の後半から少しずつですが落ちつきが見えるようになってきました。

特に 2 才児の乳児教育・保育が初めてで、事務的なことも教育・保育的なことも変化が多い中、今までのうみのほし幼稚園の良さを失わずに、教育レベルを下げることなく、認定こども園の一年目を終えたことが誇りに思えます。

課題として見えてきたのは、まず、新しい先生(パートも含めて)の確保とチームワークの難しさ。

全ての職員の苦勞が実り、今まで以上に変わる社会や、地域、家族や子どもに答えようとするカトリック園として大変成長した一年でした。

財務面では、園児数が前年度とほぼ同じですが、認定こども園に移行したために、福祉的な部分が増え、園児に当たる教員教諭の基準が変わり、会計の仕分けも変わり、26 年度との比較は今までのようにはできませんので、解釈に配慮すべき。

消費収支計算書を見ると、帰属収入合計が前年比は 34.8%の増収となる事に対して消費支出の部合計は、23.3%の増加になりました。消費収支差額は、プラス 1,148 万円となり、前年度(マイナス 3,489 万円)より大変よくなったように見えますが、移行に伴った工事の支払時期とその補助金の時期のズレに大きな原因があります。

支出面では、人件費比率は、(人件費 159,751÷帰属収入 297,073-42,751¹) 62.8%になり、全国平均²を上回っています。

消費支出比率は、(消費支出 263,407÷帰属収入 297,073) 88.6%になり、全国平均³を下回っています。

全体的には、次年度繰越支払資金は、前年度繰越支出資金より増加したことは園の全体的な経営状態が良好であることを示しています。

28年度園児数は、前年度より29名減少しますが、土曜日は開園になる事などを踏まえ補助金の増加は期待できます。1歳児の受け入れは、枚方市が待機児童ゼロ宣言したため、見通せない状況です。

¹ 今年度しか支給されない工事の特別補助金

² 平成 25 年度の全国平均は 58.7%。

³ 平成 25 年度の全国平均は 91.9%。